

沿岸生態系の保全や修復に関する研究

エスチュアリー研究センター 准教授 堀之内 正博・助教 川井田 俊

沿岸の浅い水域には海草藻場やマングローブ域、塩性湿地など、様々な魚類や底生動物（甲殻類や貝類など）が多数出現する生物多様性の高い場所があります。これらの場所は、成長すると別の場所に移動し漁業の対象となるものなど様々な種の仔稚の成育場としても機能しており、沿岸生態系全体の高い生物多様性の維持や地域漁業資源の持続的利用に大きく貢献していると考えられます。しかし近年、沿岸開発や自然の攪乱などにより世界中でこれらの場所の劣化や消滅が報告されており、それらの保全や修復の策をたてることが急務となっています。そこでこれまで、1) (亜) 熱帯域において生物多様性の向上などに寄与する海草藻場の造成デザイン、2) 潮間帯海草藻場/マングローブ域が魚類に果たす機能の解明、3) 温帯域の塩性湿地における野外実験を用いた底生動物の多様性維持機構の解明などに取り組んできました。

今後もこのような研究を継続・発展させることにより、沿岸生態系の保全や修復に関連した情報を蓄積していきます。

